



山形県感染症発生動向調査

令和6年第26週(令和6年6月24日～令和6年6月30日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
URL <https://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
2024年7月3日 発行



<定点把握感染症 週報>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

疾 病 名	全国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
	第25週	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	
インフルエンザ/COVID-19定点 (定点医療機関数)		(43)			(9)			(10)			(4)			(8)			(12)			
インフルエンザ	809 0.16		1 0.02	△					1 0.10	△										11938
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	22754 4.61	63 1.47	113 2.63	△	24 2.67	21 2.33	▽	10 1.00	28 2.80	△	6 1.50	7 1.75	△	10 1.25	17 2.13	△	13 1.08	40 3.33	▲	8010
小児科定点 (定点医療機関数)		(28)			(6)			(7)			(3)			(5)			(7)			
RSウイルス感染症	3970 1.27	32 1.14	64 2.29	▲	6 1.00	10 1.67	△	13 1.86	20 2.86	▲		5 1.67	△	8 1.60	9 1.80	▲	5 0.71	20 2.86	▲	382
咽頭結膜熱	2703 0.86	58 ◎2.07	27 0.96	▽	18 ◎3.00	2 0.33	▽	16 2.29	10 1.43	▽	1 0.33		▽	14 ◎2.80	8 ◎1.60	▼	9 1.29	7 1.00	▼	1422
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12682 4.05	178 ◎6.36	185 ◎6.61	△	55 ◎9.17	48 ◎8.00	▼	46 ◎6.57	46 ◎6.57		6 2.00	13 4.33	▲	49 ◎9.80	67 ◎13.40	△	22 3.14	11 1.57	▼	6255
感染性胃腸炎	13314 4.25	136 4.86	155 5.54	△	50 8.33	52 8.67	△	37 5.29	42 6.00	▲	8 2.67	13 4.33	▲	31 6.20	34 6.80	△	10 1.43	14 2.00	▲	3450
水痘	687 0.22	2 0.07	1 0.04	▼	1 0.17		▽		1 0.14	△				1 0.20		▼				109
手足口病	19797 6.31	11 0.39	8 0.29	▼	4 0.67	5 0.83	△		3 0.43	△				3 0.60		▼	4 0.57		▽	180
伝染性紅斑	266 0.08																			15
突発性発しん	1056 0.34	14 0.50	15 0.54	▲	2 0.33	5 0.83	△	3 0.43		▽	2 0.67	3 1.00	▲	5 1.00	6 1.20	△	2 0.29	1 0.14	▽	262
ヘルパンギーナ	3358 1.07	5 0.18	19 0.68	△	1 0.17	2 0.33	▲		1 0.14	△		2 0.67	△	4 0.80	11 2.20	△		3 0.43	△	66
流行性耳下腺炎	230 0.07	1 0.04	2 0.07	△		1 0.17	△				1 0.33		▽					1 0.14	△	20
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	34 0.05																			0
流行性角結膜炎	456 0.66	8 1.00	13 1.63	▲				5 1.67	6 2.00	▲	2 2.00	7 7.00	▲				1 0.50		▽	61
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	10 0.02																			3
クラミジア肺炎	2 0.00																			0
マイコプラズマ肺炎	192 0.40	1 0.10		▽	1 0.50		▽													1
細菌性髄膜炎	10 0.02																			0
無菌性髄膜炎	20 0.04																			0

<全数把握感染症 週報>

疾 病 名	報 告 数					備 考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核		1				
百日咳					1	ワクチン接種歴:不明

<通 信 欄>

※トピックスで、百日咳について掲載しています。

※警報・注意報の基準値

疾 病 名	警 報 レ ベ ル		注 意 報 レ ベ ル
	開 始	終 息	
インフルエンザ	30	10	10
新型コロナウイルス感染症	-	-	-
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPを ご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<定点把握感染症 週報 年齢別報告数>

インフルエンザ/COVID-19定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ				1											1
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	113
	1	3	5	2	1		3	1		5	2	5	6	7	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
	13	9	5	20	10	15									
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	6	6	25	12	8	3	2	1	1						64
咽頭結膜熱		1	7	7	2	2	6	1						1	27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			22	11	21	18	18	18	13	12	17	27	1	7	185
感染性胃腸炎	1	9	23	19	13	19	11	10	9	14	9	14	2	2	155
水痘								1							1
手足口病			3	3	1	1									8
伝染性紅斑															0
突発性発しん		6	8		1										15
ヘルパンギーナ		2	7	2	3	1	1	1	1	1					19
流行性耳下腺炎							2								2

<定点把握感染症 令和 6年 5月 月報>

2024年6月19日 発行

疾 病 名		山 形 県		山 形 市		村 保 健 所		最 保 健 所		置 保 健 所		庄 保 健 所		累積 (県)
		4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	
STD定点 (定点医療機関数)		(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	11	19	4	5	4	5		2	2	5	1	2	63
	定点当たり報告数	1.10	1.90	2.00	2.50	2.00	2.50		2.00	1.00	2.50	0.33	0.67	
性器ヘルペスウイルス 感染症	報告数	7	8	2	1	1	2	2			2	2	3	41
	定点当たり報告数	0.70	0.80	1.00	0.50	0.50	1.00	2.00			1.00	0.67	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	1	3		1	1	1		1					11
	定点当たり報告数	0.10	0.30		0.50	0.50	0.50		1.00					
淋菌感染症	報告数	2	3		1		1		1	1		1		8
	定点当たり報告数	0.20	0.30		0.50		0.50		1.00	0.50		0.33		
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌 感染症	報告数	4	8	1	3			3					5	27
	定点当たり報告数	0.40	0.80	0.50	1.50			3.00					1.67	
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	12	16	2	4		1		1			10	10	57
	定点当たり報告数	1.20	1.60	1.00	2.00		0.50		1.00			3.33	3.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													1
	定点当たり報告数													

<トピックス>

百日咳に注意しましょう！

百日咳は特有のけいれん性の咳発作を特徴とする急性気道感染症です。1歳以下、特に生後6ヵ月以下の乳児では亡くなってしまうこともあります。わが国ではワクチン接種の普及とともに患者の報告数は減少しましたが、ワクチン未接種の人や接種後年数が経過し免疫効果が減弱した人での発病がみられています。

第26週現在、山形県では12例の報告があり、昨年1年間の報告数と同数となっています。

原因と感染経路

百日咳菌による気道感染で、感染経路は飛沫感染、接触感染です。

症状

7～10日間の潜伏期の後、カタル期、けい咳期、回復期という3つの経過をたどり、約2～3ヶ月で回復します。

カタル期(約2週間持続)

かぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなる。

けい咳期(約2～3週間持続)

次第に特徴のある発作性けいれん性の咳(けい咳)となる。けい咳発作では短い咳が連続的に起こり、続いて、息を吸うときに笛の音のようなヒューという音が出る。非発作時は無症状であるが、何らかの刺激が加わると発作が誘発される。また、夜間の発作が多い。

回復期(2, 3週～)

激しい発作は次第に減り、2～3週間で認められなくなる。



成人の百日咳では咳が長期にわたって持続しますが、典型的なけい咳を示すことはなく、やがて回復に向かいます。軽症ですが、菌の排出があるため注意が必要です。

治療・予防

抗菌薬による治療を行います。咳に対しては鎮咳去痰剤、場合により気管支拡張剤などが使われます。

有効な予防法は予防接種です。予防接種法に基づく定期予防接種が行われています。

飛沫感染、接触感染の予防には、基本的な感染対策である「手指衛生」「咳エチケット」を心がけましょう。

